

報道資料

令和2年1月30日

1 件 名 「滑マツ」の活用について

2 内 容

山口市徳地の滑山国有林に自生する直径60センチ以上の優良なアカマツは「滑マツ（なめらまつ）」と呼ばれ、かつては錦帯橋や皇居神宮殿にも使用されました。現在はわずか数十本を残すのみとなり、保護林として管理され市場に出回ることのない高級マツ材です。

昨年、松くい虫で枯れた、滑マツ4本が危険木として伐採されました。通常なら山中に放置されるところですが、伐採後に木の状態を確認したところ、建築用材として使用可能であることから、近畿中国森林管理局山口森林管理事務所と協議し、滑マツをこれから新築する徳地総合支所及び本庁舎に活用し、市内国有林の希少な銘木として市民に認知を図り、市内産材のすばらしさの普及啓発を行う事で本市の林業振興の一助とすることを目的として買受けの要望をいたしました。

今回、買受け手続きが終了しましたので、2月3日以降、伐採された滑マツを架線で搬出し、製材所へ運搬する予定です。

※滑マツの特徴

- ・材が直材でうらごけが少ない。
- ・樹皮が極めて薄い。
- ・年輪幅が狭く均等で直円である。（偏心がない）
- ・辺材（しらた）が少ない。
- ・心材は樹脂が少なく、赤色鮮明で光沢に富む。

3 問い合わせ

山口市徳地総合支所農林課

森林活用・セラピー担当（担当：木原）

電話0835-52-1122

FAX0835-52-1301

メール tk-nourin@city.yamaguchi.lg.jp

